

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後子どもクラブびこ			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 29日 ～ 令和7年 2月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 29日 ～ 令和7年 2月 21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じ敷地内に法人事業所があるため、常に子ども達やスタッフが交流できる環境がある。	隣接していることで、平常時緊急時お互いに協力し合える。 3事業所合同の行事等ができる。	立地を活かした環境を今後も準備して行きたい。
2	子ども達が住む身近な地域で福祉サービスが受けられる。	地域密着を目指してきたため、学校との連携が取れている。 事業所、学校、保育所等訪問支援との連携に力を入れている。	成長に合わせて、一人ひとりにあったきめ細やかな支援を継続していきたい。
3	施設外での活動も充実している。	個々のニーズに合わせて、スポーツ教室、サッカースクール、音あそびを定期的に行なっている。 職場見学、バス遠足、夏祭り、クリスマス会など行なっている。	施設内外の活動をバランスよく行なっていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望があっても常に定員を満たしており、新規契約が難しい。	法人内で移行する児童が毎年一定数いるため、新規の利用契約が受けられない。	見学や相談、情報発信は常に行なっていく。
2	まだまだ地域に開かれた事業所になっていない。	引越して間もないことや一部地域住民の方の事業の理解が得られないことなどから、当初から目指している地域と連携した活動はまだ達成できていない。	これからも地域住民の理解を得られるよう努力しつつ、実現に向けて模索していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後こどもクラブぴこ

公表日 令和7年3月24日

利用児童数 29

回収数 21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			1		・保育士や児童指導員を基準通り適正な 人数配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			1		・外玄関にスロープや手すりを設置した り、目的ごとに部屋分けて活動してい ます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21					
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	21				安心して通所できるよう、イベントなど の情報提供をして頂き、参加できるき かけを作ってもらい感謝しています。	・常にスタッフで話し合いをし、個々に 合わせた支援が出来るように心掛けてい ます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	20			1		・支援プログラムに沿った支援内容を心 掛けています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	21					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	21					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	21					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	12	2	2	5	サッカー教室等で交流があると思い ます。その他にそのような活動に参加する 機会がありません。	・定期的に運動プログラムを取り入れ交 流の場を設けています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニン グ等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	20	1				・ペアレントプログラムの案内や、研修 会の案内をさせていただいています。是 非ご参加ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況に ついて共通理解ができていますと思いますか。	20	1			利用した日に毎回子どもの様子を報告さ せてもらい、共通理解が出来ている。	・連絡帳やお迎えの際に、その日の様子 などを丁寧に報告させて頂いています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1				・困り事がありましたらいつでもご相談 ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				帰りの申し送りや定期的な面談などを通 して、子どもの特性を理解し、寄り添っ た支援をして頂いていると思います。	・引き続き誠実に対応していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2	3	5		・現在保護者会等はありませんが、何ら かの形で開催できればと考えています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	19	1		1	子どものヘルプサインに気づいて頂き、 迅速かつ適切に対応していただきました。 た。	・困り事がありましたらいつでもご相談 ください。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			2		・ホームページに掲載していますのでご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1		・ご不明な点がございましたら、いつでもご相談ください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			3		・年2回避難訓練をしています。訓練の様子などはホームページなどで掲載していますのでご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		1		・ホームページに掲載していますのでご覧ください。ご不明点がございましたらいつでもご相談ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			1		・事後の対応を迅速に行なうことを第一に、保護者様への状況説明を丁寧にするよう心掛けています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	2			今はまだ子ども自身の状態が不安定な為通所できていない。	・いつでもお子様が安心して利用できるようスタッフ一人ひとりが心掛けています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	3			子どものその時の状態と内容によって、楽しく参加出来る時がある。	・これからもお子様の要望も取り入れた、充実したプログラムを準備していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				いつも細やかな支援ありがとうございます。なかなか運動に触れる機会を作ってあげられていないのでありがたいです。	・これからもお子様の安心できる場所であり続けられるよう努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年3月24日				
放課後子どもクラブびこ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・子ども達の利用人数や活動内容に合わせて、個別スペースの確保やオープンスペースを設け、個々に合わせた対応になっている。	・環境を生かし、今後も幅広くお子さんの活動を提案していきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		・保育士や児童指導員を基準通り適正な人数配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・段差は少なくトイレは車いす対応。玄関はスロープ手すりを設置、駐車場も舗装している。視覚情報をもとに自立して行動できることを目指している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・日々清掃、消毒や換気を行い、毎日清潔に保っている。毎週金曜日に細かい環境整備を行なっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・個別の部屋や対面、グループ活動等に目的別に使用している。必要に応じてパーティションで仕切ること、刺激の少ない空間を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・毎日ミーティングを行い、全スタッフと意見を出し合い、目標設定と振り返りの場が設けられている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・頂いたご意見を把握しスタッフ全員で共有をし、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・個別のスタッフ面談を設け聞き取りをしたり、改善に努めている。 ・改善点については、ミーティングで話し合い、早急に対応するように心がけている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		・外部評価は行っていない。今後検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・内部研修の実施。外部研修の情報提供、勤務調整を行い、様々な分野の研修に参加に参加できる機会が設けられている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・作成しホームページに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・ご家族との面談を設け、ご家族の希望を取り入れ、子ども達に合わせた支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・個別支援計画検討会議が充実しており、細かくミーティングがされている。 ・全スタッフが会議に参加し、意見交換の場を設けながら、計画作成を行なっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・個別支援計画検討会議が充実しており、具体的な支援について日々話し合いをしている。細かくミーティングされ、全員で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・郡山市自立支援子ども部会で作成した市共通のアセスメント使用。合わせて、事業所内独自のものを使用し確認をしている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・細かくミーティングを行い、5領域との関連性を踏まえながらポイントを絞って設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・事業所内でミーティングを行い、下校時間に合わせた子ども達の組み合わせ、内容の確認、どんな活動プログラムをするのかを組み立て、全員で確認をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・日によって活動内容を変え、お客様の組み合わせや、活動が一定にならない様にしている。様々な活動を取り入れ、個別の活動の他に、制作活動、グループ活動、イベントなど固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・保護者や子ども達の状況、希望を聞きながら対面活動や個別活動を計画作成し実施している。サッカー、スポーツ、音遊びなど集団の場面での目標に対して支援を行なっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝夕2回実施。丁寧にミーティングを行ない、子ども達の様子について確認しチームで連携し支援が出来るように話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・毎日支援終了後に行い、子ども達の様子、気になった点、共有を行い、次回に繋がる振り返りにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・スタッフ一人一人が常にメモを取るよう意識し、支援に関しての記録を行い、漏れが無いように工夫をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・定期的に相談員や保護者と連携をし、年2回のモニタリングを行い、適切な見直しを行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域の交流の機会の提供、余暇の提供を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・基本のスケジュールは子ども達一人ひとりで設定されているが、時間をどう過ごすか、グループ活動等、自分の意見を伝える場を設けている。子ども達だけで企画実行などを行なえるようにサポートしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児童発達支援管理責任者、担当職員等が必ず参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・必要に応じて担当者会議を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・常に顔が見える関係を意識している。毎日の学校お迎え時や、保育所等訪問支援員と学校の同行などをし情報交換に努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		・保護者同意の上で、移行先から要請や必要に応じて行なっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・スポーツプログラムの際に一緒に活動したり、地域のサッカーチームと合同の練習、交流をしている。	・今後も運動プログラムを通して、地域のお子さんと一緒に活動できる場を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		・定期的に事業所連絡会、研修等に参加している。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・連絡帳や送迎時にその日の出来事や家での様子など情報共有をしている。必要に応じて個別に面談を面談を行なっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・県委託のペアレントプログラムを毎年実施している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時や変更があった際に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・「ご本人ご家族の希望」を毎年提出して頂き、計画に反映させている。必要に応じてご家族だけでなく、子ども達と面談の機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・必ず面談をする時間を設け丁寧に説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・必要に応じて、ご家族と面談を行い、内容によっては早急に対応をするように心がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4	・保護者会はないが、ペアレントプログラムや運動プログラムの参観などで交流する場がある。	・保護者会はないが、保護者同士の繋がりを設けて行きたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・担当、窓口を設けている。苦情があった場合には迅速に対応できるように心がけ、全員で内容を共有し再発防止に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・活動の様子や内容等の写真やSNSで積極的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・職員間での確認を徹底し、取り扱いについて繰り返して確認をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・口頭だけでなく必要に応じて、書面で伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	・目指している地域交流は実現していない。地域に開かれた活動を徐々に広げていきたい。	・何らかの形で開催したい。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・定期的に訓練している。マニュアルはホームページに掲載しているが保護者への周知までには至っていない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・避難訓練を実施している。3つの事業所が協力して避難することを意識している。水、非常用トイレなどを段階的に備蓄している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・契約時のサポートブックやアセスメントでの把握、定期的な面談等で服薬情報を確認している。服薬に変更がある場合は、その都度処方箋や連絡帳などで細かく情報共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	・該当者いないが、ご家族から聞き取りをし把握している。	・保護者さんを通じて、医師からの指示がある場合はおやつなどの提供に十分配慮して行きたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・計画作成し、職員間で確認している。	・作成しているが定期的な見直し、訓練の継続が課題。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・ホームページに掲載しているが保護者への周知までには至っていない。	

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・その日の内に話し合い改善策を話し合っている。また全体ミーティングで共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止委員会を設置している。外部研修に参加したり、ミーティングなど全員に情報共有をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	4	・対象児童なし。	・外部研修や内部研修の場を設け全員で共通理解を図っている。